

クスリミニガイド

薬物情報電話サービス

Q & A

2004



目次

薬物情報電話サービスについて	1
インフルエンザ治療薬について	2
医薬品によるスティーブンス・ジョンソン症候群	4
フェニルプロパノールアミンを含有する医薬品について	6
不眠症の医薬品	8
滴剤型下剤の服用	10
うがい薬の誤飲	11
植物活性剤の誤飲	12
イチョウ葉食品によるアレルギー	13
薬の保管方法	14
お知らせ 健康食品による健康被害について	16



薬物情報電話サービスについて

神奈川県では、県民に対し、「薬物情報電話サービス」の窓口を設け、

1. 医薬品の効能・副作用・使用上の注意
2. 化学製品・農薬などの安全性
3. 誤飲した薬物などの危害情報

などの情報を提供しております。皆様からの問い合わせには、薬剤師が直接お答えしておりますので、お気軽にご利用ください。

電話 **045-210-1111** 業務課
薬事・安全情報班へ
受付は平日 8 時 30 分～17 時

- ◆この電話サービスは、医師が行う患者への指示や説明に代わるものでなく、むしろ医薬品の知識という面で、医師と患者のコミュニケーションをよりよくするためのものです。
- ◆医療内容、治療方針など主治医の専門領域に属する事項については、回答できない場合があります。



インフルエンザ治療薬について

【質問】

最近、インフルエンザ治療薬が発売されたとききましたが、インフルエンザにかかる前に飲んでもいいのですか？

【回答】

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによる感染症で、発熱を伴う頭痛、関節痛、悪寒、咳、鼻汁などのいわゆるかぜの諸症状が現れ、特に空気の乾燥した冬季に流行します。一般のかぜと異なり、急激な高熱、関節痛などが特徴です。

A型、B型両方のインフルエンザの治療に用いられる医薬品として、リレンザが2000年12月に、タミフルが2001年2月に発売されており、また、A型インフルエンザの治療薬としてシンメトレルが1998年11月に認められています。

これらの医薬品は、インフルエンザに感染した場合に用いる医薬品としてその効果が認められたもので、インフルエンザに感染しないようにするものではありません。

インフルエンザ様の症状が現れてから2日以内に服用を開始することで、インフルエンザウイルスの増殖が抑えられ、症状が重くなるのを防ぎます。



なお、インフルエンザ以外のウイルスや細菌による感染症には効果がありません。

インフルエンザの診断、治療については、医師の診察を受けた上で、処方された薬を、指示通りに服用することが大切です。

【参考資料】

中外製薬(株)：タミフルカプセル/ドライシロップの添付文書
グラクソ・スミスクライン(株)：リレンザの添付文書
ノバルティスファーマ(株)：シンメトレルの添付文書



医薬品によるスティーブンス・ジョンソン症候群

【質問】

かぜ薬を服用すると、スティーブンス・ジョンソン症候群という副作用が現れることがありますが、どのようなものですか。

【回答】

スティーブンス・ジョンソン症候群とは、発熱や、皮膚、眼や粘膜に発疹が広がるなどの重い症状をいい、医薬品の副作用で起こるといわれています。その発生頻度は、ごくまれですが、市販されているかぜ薬を含めて、右に示した医薬品でも同様の副作用が起きたと報告されています。

その初期症状は、発熱や関節の裏側に紅斑が現れ、またこの紅斑が急速に増加するにつれ、眼や口の粘膜にも発疹がでることもあります。

かぜ薬などを服用して、これらの初期症状が現れたときは、直ちに医薬品の服用を中止し、すみやかに医師の診察を受けてください。

【参考資料】

厚生労働省医薬局：医薬品・医療用具等安全性情報
No.177 2002年5月

【スティーブンス・ジョンソン症候群が報告された医薬品】

医薬品の成分名	薬効分類
サリチルアミド アセトアミノフェン 無水カフェイン メチレンジサリチル酸 プロメタジン	総合感冒剤
アロプリノール	痛風治療剤
カルバマゼピン	抗てんかん剤
アジスロマイシン水和物	マクロライド系抗菌剤
ジクロフェナクナトリウム	消炎鎮痛剤
ゾニサミド	抗てんかん剤
サラゾスルファピリジン	潰瘍用剤
塩酸セフカベンピボキシル	セフェム系抗菌剤
フェニトイン	抗てんかん剤
レボフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤





フェニルプロパノールアミンを含有する医薬品について

【質問】

フェニルプロパノールアミン(PPA)という成分を含む医薬品が製造中止になったという新聞記事を見ましたが、どうしてですか。

また、この成分を含んだ医薬品が家にあるのですが、服用しても大丈夫ですか。

【回答】

PPAは血管を収縮させる、鼻や目の充血を取り除く、気管支を拡げるなどの作用があり、一般には鼻水を抑えたり、咳や痰を鎮めたり、感冒薬として使用されています。

米国では、この他に食欲抑制剤としても使用されていましたが、この用途で使用した場合、脳出血の危険度が高まるとの注意喚起がされ、市販されなくなりました。

日本では食欲抑制の目的で使用されることはなく、また、鼻水止めなどに用いる場合でも、米国の服用量より低く定められていましたが、平成12年11月に心臓病や脳出血の既往歴がある人は使用しないよう、また、定められた用法用量を守って正しく使用するように注意喚起がなされました。

しかしその後も、PPAを含有する医薬品による脳出血等の副作用の事例が報告されたことから、平成15年8月、厚生労働省は、製薬会社に対して、PPAと同じ作用をもつプソ



イドエフェドリンという成分へ切り替えるとともに、使用上の注意を改訂するよう指示しました。

ご家庭にPPAを含有する医薬品があり、それを服用する場合は、次の事項を厳守してください。

<次の人は服用しないこと>

- ・高血圧、心臓病、甲状腺機能障害の診断を受けた人
- ・脳出血を起こしたことがある人
- ・PPAを含有する医薬品（鼻炎用内服薬、風邪薬、鎮咳去痰薬など）を服用した後に頭痛、悪心・嘔吐、めまい、動悸等の症状や著しい血圧上昇があらわれたことのある人

<服用上の注意>

- ・定められた用法用量を厳守し、過量服用しないこと
- ・2種類以上のPPA含有製剤を同時に服用しないこと
- ・パーキンソン病で塩酸セレギリン等を服用している人は医師、薬剤師に相談すること

【参考資料】

厚生労働省医薬局：医薬品・医療用具等安全性情報

No.163 2000年11月

厚生労働省医薬食品局：医薬品・医療用具等安全性情報

No.193 2003年9月

クスリミニガイド2002

不眠症の医薬品

【質問】

最近、「ドリエル」という寝つきをよくする薬が販売されていますが、病院からもらう睡眠薬と同じものなののでしょうか？

【回答】

「ドリエル」は、塩酸ジフェンヒドラミンを有効成分とした寝つきをよくする薬で、2003年4月から発売され、薬局・薬店で買うことができる市販薬です。既にアメリカ、イギリス、ドイツ、カナダなどでは同じ成分を含有した医薬品が睡眠改善薬として販売されています。

病院・診療所で主に処方される寝つきをよくする薬は、ベンゾジアゼピン系睡眠薬（ベンザリンなど）で、脳や神経の興奮を抑える作用をもつ物質（GABA：ガンマアミノ酪酸）の作用を促進することで眠りをさそいます。

これに対し、ドリエルの成分であるジフェンヒドラミンは、神経を興奮させるヒスタミンの作用を抑制する（抗ヒスタミン作用）ことで眠りをさそいます。

このことからわかるように、病院・診療所で処方される寝つきをよくする薬とは成分や眠りをもたらす仕組みが異なります。

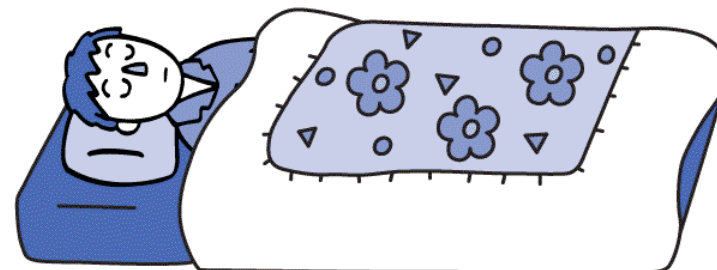
この薬は、長期にわたり不眠の症状のある方や不眠の治療をしている方のための薬ではありません。旅行やストレスなどで数日程度、寝つきが悪い、眠りが浅いなどの一時的な不眠症状を緩和するための薬です。

この薬を感冒薬やアレルギーの薬と一緒に服用すると、作用が強くあらわれることがありますので、これらの薬を服用中の方は、服用してはいけません。

【参考資料】

エスエス製薬(株)：ドリエル解説書

エスエス製薬(株)：ホームページ





滴剤型下剤の服用

【質問】

便秘症なので医療機関でラキソベロン液が処方されましたが、飲み方がよくわかりません。

【回答】

ラキソベロン液は、ピコスルファートナトリウムを有効成分とする下剤で、成人の場合、通常、10～15滴をコップ半分程度の水やお茶、牛乳などに滴下して1日1回服用します。

この薬は、透明～薄い黄色ですが、光により徐々に色が濃くなります。薬の容器を長時間放置すると薬液に色がつくことがありますので、暗い場所で保管をしてください。着色した薬は、服用しないほうがよいでしょう。

また、この薬の容器の形は、目薬とよく似ているので、誤って点眼しないよう注意してください。

【参考資料】

帝人株：ラキソベロン液の添付文書
イラストでみる服薬指導 解説編（南山堂）
服薬指導ハンドブック（南山堂）



うがい薬の誤飲

【質問】

うがいをしたときに、うがい薬（イソジンガーグル）を誤って飲み込んでしまいました。大丈夫でしょうか？

【回答】

イソジンガーグルは有効成分としてポビドンヨードを含みます。このポビドンヨードは、うがい薬としてよく用いられている殺菌消毒用の褐色の液剤で、使用するときには水で薄めて使います。

うがいをするとき誤って飲んだ程度では、心配はありませんが、念のために、牛乳などを飲んで、様子を見てください。嘔吐、腹痛、下痢などの症状が現れたり、大量に飲んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

【参考資料】

第3版 急性中毒処置の手引(薬業時報社)
明治製菓株：イソジンガーグルの添付文書



植物活性剤の誤飲

【質問】

子供が植物の鉢植えに使用していた植物活性剤を誤って飲んでしまいました。大丈夫でしょうか？

【回答】

植物活性剤は、その成分として窒素、リン、カリウム等を含むもので、植物が弱ってきたときや、苗木を植えるとき、さし木などをするとき利用します。

誤って飲んでも、各成分は微量ですので、症状が現れることはほとんどありませんが、念のために牛乳、水などを飲ませて様子を見てください。誤って飲んだ後に様子がおかしい場合は、医師に相談してください。

【参考資料】

第3版 急性中毒処置の手引(薬業時報社)



イチヨウ葉食品によるアレルギー

【質問】

イチヨウの葉を利用した食品でアレルギーになるという新聞記事を見ましたが、どういうことでしょうか。

【回答】

イチヨウの葉には、イチヨウだけに存在するアレルギー物質であるギンコール酸が含まれています。

ギンコール酸は、特に外種皮（種子の外側の柔らかい特有な臭いのする部分）に多く含まれますが、葉にも外種皮の5分の1程度含まれています。

そのため、イチヨウの葉を利用した健康食品を摂取することで、湿疹などのアレルギー様の症状が現れたり、また、呼吸困難などアレルギー性ショックが起きたという報告もされていますので、このような症状が現れた場合は、すみやかに医師の診察を受けてください。

【参考資料】

国民生活センター：イチヨウ葉食品の安全性 平成14年

薬の保管方法

【質問】

薬は、どのように保管するのがよいのでしょうか。

【回答】

薬は、保管の仕方によっては、その有効成分などが変質したりすることがあります。これにより、薬の効果がなくなったり、場合によっては、体に有害な影響を与えることもあります。

一般に薬の品質に影響を与える主な要因としては、光、温度、湿度があげられます。したがって、暗い、涼しい、湿度の低いところが薬の保管に適した場所と言えます。

具体的には、乾燥剤などを入れた密閉できる容器に薬を入れ、冷暗所に保管することが好ましいでしょう。

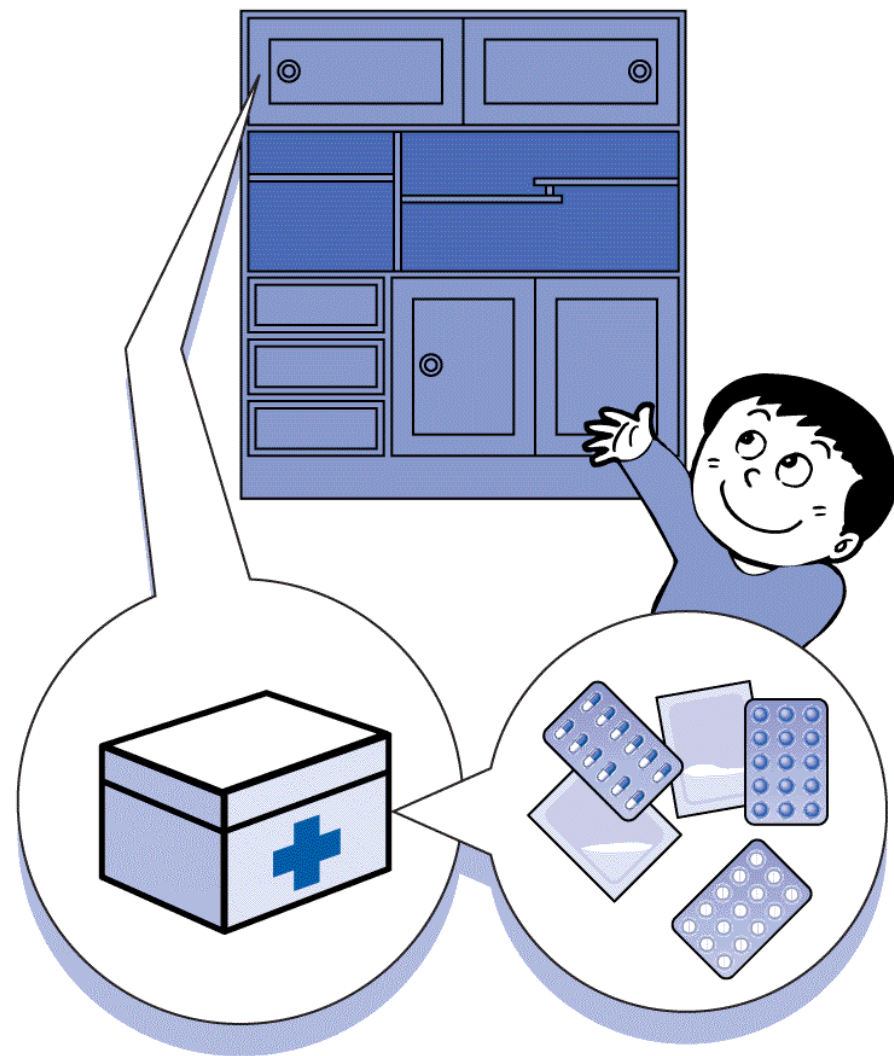
しかし、低温での保管が良いからといっても、冷凍庫などは、薬の保管には適切ではありません。一度凍結すると、薬が分離したり、溶けにくくなったりして、もとに戻らないものもあるからです。

また、薬の保管場所は、小児の手の届かないところを選ぶことが誤飲、誤食を防ぐことにもつながります。

【参考資料】

メディックブック PART2(金原出版)

わかりやすい薬の知識(新日本法規)



お知らせ

健康食品による健康被害について

個人輸入や通信販売などで購入した健康食品などによる健康被害が、全国で報告されています。今後も発生するおそれがありますので、引き続きご注意ください。

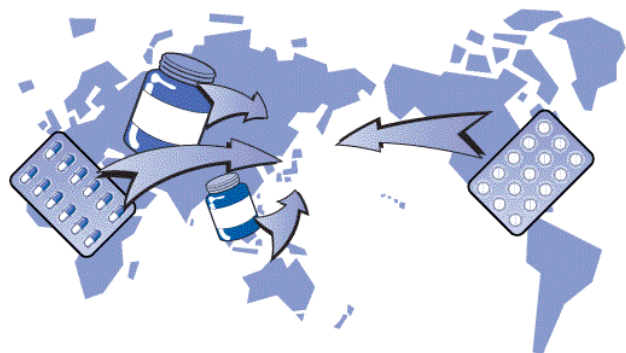
個人輸入とは、個人が海外の販売業者と直接取引、あるいは代行業者を介して商品を購入することです。個人が輸入した健康食品により健康被害が発生しても、輸入した人が責任を負うことになります。

Q1 どんな製品で健康被害が発生していますか。

A1 ダイエット用健康食品やアマメシバなどが報告されています。

最新の情報は、厚生労働省のホームページをご覧ください。製品名や、健康被害の発生状況が発表されています。

<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/diet.html>



Q2 健康被害はなぜ起きたのですか？

A2 原材料表示に記載されていない医薬品成分が含まれていたり、食品を錠剤やカプセル剤などにすることで、食品としての摂取量に比べて短期間に大量に摂取したことなどが原因と考えられます。

Q3 健康被害が発生したらどうしたらいいですか？

A3 健康食品を摂取し、体調不良等を感じたらすぐに摂取を中止し、医師の診察を受けてください。

また、神奈川県各保健福祉事務所、横浜市の各福祉保健センター、川崎市の各保健福祉センター、並びに横須賀市及び相模原市の各保健所へご相談ください。

クスリミニガイド 2004

平成16年1月1日

監修 神奈川県医療用薬剤関係情報検討委員会
委員長 加藤 勲 (神奈川県医師会副会長)
副委員長 富田 恭久 (神奈川県病院協会副会長)
委員 馬嶋 正剛 (神奈川県医師会理事)
菅川 和高 (神奈川県医師会理事)
内田 健夫 (神奈川県医師会理事)
澤井 博司 (神奈川県医師会理事)
遠藤 浩良 (帝京大学名誉教授)
加藤 洋 (神奈川県薬剤師会副会長)
永倉 初江 (神奈川県病院薬剤師会副会長)
竹内 尚子 (神奈川県病院薬剤師会薬事情報委員)

発行 神奈川県衛生部薬務課
〒231-8588 横浜市中区日本大通1



神奈川県

衛生部業務課

横浜市中区日本大通1 〒231-8588 電話 (045)210-1111(代表)

R100 古紙配合率100%再生紙を
使用しています